

のごあいさつ

初志貫徹

南九州市長 塗 木 弘 幸



明けましておめでとうござい
ます。

市民の皆さまにおかれましては、日頃より市行政の円滑な運営にあたり、深いご理解とご協力を賜り、この場をお借りして厚くお礼申し上げますとともに、輝かしい平成31年の新春を健やかにお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

さて、穎娃町、知覧町、川辺町の3町が合併し南九州市が誕生したのは、平成19年12月でありました。この年は千支でいいますと亥年にあたることから、今年でちょうど一回り、12年目を迎えることとなります。

このうち、私が南九州市の市政運営を担わせていただくこととなったのは、平成27年12月23日でございますので、今年で4年目となり、現在の任期における締めくくりの年となります。

これまで私は、市民の皆さまの声こそが市政運営における羅針盤であるとの確固たる思いで、市政懇談会などにより、さまざまな声をお聴きし、市民の皆さまの融和を図りながら、社会基盤や生活環境の整備、健康・福祉の向上や教

育・文化の振興など諸課題に対応するとともに、基幹産業である農業と観光、子育て支援などの分野に特に重点を置き、総合計画と、人口減少の克服と地域経済の活性化を目指す創生総合戦略を中心に、各種施策を推進して参りました。

今後さらに、市民サービスを充実させ、これまで進めてきた行政改革を停滞させることなく本市のさらなる発展を推進するため、第1次南九州市行政改革大綱（平成20～29年度）に引き続き、第2次南九州市行政改革大綱（平成30～39年度）を策定しました。この大綱を実現するための具体的な取り組みである集中改革プランにより、積極的な改革を進めて参ります。

新年を迎え、およそ3年前の同じ頃、市長として初登庁したときの思いがよみがえります。その際に決意した、市の発展に全力で尽くすとの初志を貫徹するべく、市民の皆さまと一緒に参り組んで参ります。市民の皆さま、また本市に関係する皆さまの市政に対するご理解と一層のご支援を賜りますようお願いいたします。新年のごあいさついたします。

2019 新年



新しい時代に活力と魅力に 満ちた南九州市を目指して

南九州市議会議員 伊瀬知 正 人

明けましておめでとうござい
ます。

市民の皆さまには、輝かしい新
年を迎え健やかにお過ごしのこと
と存じます。

かねてから市政、市議会に対す
るご支援とご協力を賜り心から感
謝申し上げます。

昨年は2月に冬季オリンピック
ク・パラリンピックが開幕し、多く
の日本人メダリストが誕生して勇
気と感動をもらいました。

一方、7月には広島県、岡山県を
中心とした西日本地域で、数十年
に一度の豪雨により多くの犠牲者
が出ました。また、9月には北海道
の胆振東部地区で地震が発生し、
いまだに多くの被災者が避難生活
を強いられています。このように
近年は毎年のように豪雨災害や地
震災害が日本の各地で発生してい
ます。

議会としては、災害から市
民の生命財産を守ることは行政の
重要な課題と捉え、災害対策につ
いてを調査事項として、一昨年豪
雨災害に遭った福岡県朝倉市へ3
常任委員会合同での所管事務調査
を実施し、災害対策についての提
言をまとめたところであり、これ

らの調査を通して本市の災害対策
がより万全なものになるよう望む
ものであります。

市議会の活動として取り組んで
きた議会報告会は昨年で5年を数
えましたが、会の在り方について
もまた新しい形を模索しながら市
民の皆さまからの切実な思いや要
望を承って参りたいと考えており
ます。

平成の元号は4月で終わり、5
月からは新しい元号に変わります。

新しい時代に入り本市の発展に
向かって初心に帰り、議会活動の
さらなる活性化に取り組みなが
ら、活力と魅力に満ちた南九州市
を目指して参ります。

本年も市民の皆さまのご健勝と
ご多幸をお祈りいたしますととも
に、市議会に対しまして、変わらぬ
ご支援ご協力をお願い申し上げま
す。